

## [概要]

本稿では、石川県小松市お旅祭りの子供歌舞伎を対象に、祭礼の変容について町単位で調査を行い、現代の祭礼の実態を明らかにした。さらに、祭礼において衰退したと考えられる血縁や地縁といった人間関係が、どのように現れているかを考察し、祭礼が今後の地域社会のあり方についてどのような意義を持つかを検討した。子供歌舞伎では、運営組織の方法や、子供役者の決定といった面で伝統が重んじられる一方で、社会状況により参加や選択の条件が緩和されるなどの動きがみられた。これは先行研究で指摘されてきた、「選択できない縁」での衰退によるものであった。しかし、血縁や地縁というものは衰退したとはいえ、伝統的祭礼に少なからず現れていることがわかった。「選択できない縁」から現代における伝統的祭礼について分析することは、有用なことであり、伝統的祭礼が持つ性格を多面的に捉えていかなければならない。